

# 施策評価シート（平成29年度実績評価）

## ◎ 施策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	2-6	政策名	健康づくりの推進	政策の 目指す姿	心身ともに健康に暮らしています	施策 主管課	健康づくり課	施策主管 課長名	及川牧雄
	施策No.	1	施策名	健康づくりの支援	政策の 目指す姿	健康に対する意識が高まっています	関係課名	生活環境課		
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝食をとる人の割合が、幼児・小学生・中学生・高校生・20歳代男性で減少しています。</li> <li>健康のため食事に気をつけている市民の割合は約5割、意識的に運動をしている市民の割合は約3割と、健康への意識が低い状況です。</li> <li>本市では、生活習慣病である「脳血管疾患」の死亡率が全国と比較して高い状況です。</li> </ul>								

## ◎ 前年度の評価の振り返り

<p>(前年度評価時の今後の方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>脳卒中予防対策については、食生活改善推進員との連携により地域に根付いた活動を推進し、講座、講習会を通して正しい食生活の指導、食生活の改善について意識づけを行い減塩指導などによる生活習慣病対策と要注意者に対する重症化予防対策を組み合わせて継続的に展開する。</li> <li>若い世代を中心に食育講座を市内全地域へ周知し、次世代につなげる健康づくりを推進する。</li> <li>ピロリ菌検診及び特定健診の未受診者に対し個別に受診勧奨を行うことにより受診率の向上を図り、各種疾病の早期発見、早期治療を目指す。</li> <li>がん検診や特定健診はこれまで、土日健診や夕方健診の実施により受診しやすい環境を作ってきたが、今後はより受診しやすい体制の整備や健診未受診者の受診勧奨により受診率の向上を図る。</li> </ul> <p>(反映状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>脳卒中予防対策については、食生活改善推進員による伝達講習会、保健大学、健康アップ講座等により減塩を中心とする食生活の改善に取り組んだ。</li> <li>若い世代を中心に食育講座を市内全域で開催した。</li> <li>ピロリ菌検診及び特定健診の未受診者に対し個別に受診勧奨を行うことにより受診率の向上を図った。</li> <li>特定健康診査やがん検診の健診カレンダーを全世帯に配布するとともに、健診未受診者への受診勧奨により受診率の向上を図った。</li> </ul>
---

## 1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

<p>(1) 健康づくりや健康寿命を延ばす取り組みの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○食事や運動、正しい健康情報の普及啓発・・・健康アップ講座の開催</li> <li>○望ましい食生活や運動の実践など健康づくりへの支援・・・健康アップ講座、食育講座の開催</li> <li>○医師会や歯科医師会など関係機関と連携した各種健康講座などの実施・・・保健大学、健康アップ講座の開催</li> <li>○口腔機能の維持の重要性など、歯科保健の普及啓発と歯科健(検)診の実施・・・歯科保健大会の開催、成人、妊婦歯科検診等の実施</li> <li>○各年代に向けた食育講座などによる食育の普及啓発・・・食育講座、伝達講習会の開催</li> </ul> <p>(2) 生活習慣病の予防の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生活習慣病予防に向けた自己管理(セルフケア)の普及啓発と支援・・・健康づくりフロンティア事業の実施、自動血圧計の貸し出し</li> <li>○健(検)診の受診率向上と個別の特性に応じた保健指導の実施・・・未受診者への受診勧奨、特定保健指導の実施</li> </ul> <p>(3) 感染症予防の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○予防接種の実施と普及啓発・・・予防接種の実施、こどもインフルエンザ等への費用助成及び広報、えふえむ花巻、保育園等へのチラシによる啓発</li> </ul>
--

## 2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31
食事に気をつけている市民の割合(C-2)	自分自身の健康維持・増進への取組として、普段から食事に気をつけているかどうかを示す指標	出典:市民アンケート(毎年4月実施) 問:《健康管理》あなたは、健康管理について、日常生活の中で取り組んでいることがありますか。 (1)~(10)のなかで(4)食事に気をつけているを選んだ市民の割合	%	目標値	53.4	55.2	57.0	58.8	60.6	62.4
				実績値	53.0	55.2	52.7	59.9		
健康増進のために意識的に運動をしている市民の割合(C-2)	自分自身の健康維持・増進への取組として、意識的に運動しているかどうかを示す指標	出典:市民アンケート(毎年4月実施) 問:《健康管理》あなたは、健康管理について、日常生活の中で取り組んでいることがありますか。 (1)~(10)のなかで(3)健康増進のために意識的に運動しているを選んだ市民の割合	%	目標値	32.7	34.6	36.5	38.4	40.3	42.2
				実績値	30.7	32.5	30.2	31.9		
定期的に健康診断などを受けている市民の割合(C-2)	自分自身の健康維持・増進への取組として、定期的に健康診断を受けているかどうかを示す指標	出典:市民アンケート(毎年4月実施) 問:《健康管理》あなたは、健康管理について、日常生活の中で取り組んでいることがありますか。 (1)~(10)のなかで(1)定期的に健康診断などを受けているを選んだ市民の割合	%	目標値	62.6	63.6	64.6	73.0	73.5	74.0
				実績値	70.0	72.2	71.5	74.5		

## 3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>■成果指標「食事に気をつけている市民の割合」・・・【達成度 a】 ・実績値は上昇傾向であることから、食生活改善推進員や保健推進委員の活動及び、食育講座等による市民への啓発の成果が着実に表れているものと考えられる。</li> <li>■成果指標「健康増進のために意識的に運動をしている市民の割合」・・・【達成度 c】 ・広報や健康講座、マスコミ等により運動の必要性に関する情報は十分提供されているが、目標値との乖離が年々大きくなっていることから、運動の必要性は十分認識しているものの、実践に移すことができない市民が多いと考えられる。</li> <li>■成果指標「定期的に健康診断などを受けている市民の割合」・・・【達成度 a】 ・実績値は上昇傾向であることから、広報や健康講座、保健推進委員の活動により市民の健康に対する意識が徐々に高まったものと考えられる。</li> </ul>

#### 4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		成果
			対象 直結度	意図 直結度	
1	健康教育相談事業 健康相談や健康教育を実施 (健康講座、健康相談の参加者数 2,733人)	健康づくり課	一致	直結	B
			A		
2	健康づくり推進事業 保健推進委員による地域への普及啓発を実施 (保健推進委員の事業協力者数 1,636人、献血本数 4,254本)	健康づくり課	一致	間接・補完	A
			B		
3	食生活改善推進事業 食生活改善推進員により減塩指導を実施 (食生活改善伝達講習会 195回)	健康づくり課	一致	直結	B
			A		
4	健康診査事業 各種がん検診を実施 (大腸がん 33.8%、乳がん40.2% 子宮頸がん 31.9%)	健康づくり課	一致	間接・補完	C
			B		
5	歯科保健事業 成人歯科健診、歯周病予防検診を実施 (受診率 15.3%)	健康づくり課	一致	直結	C
			A		
6-1	感染症予防対策事業 予防接種法により各種予防接種を実施 (日本脳炎の接種率 H29 93.1% BCGの接種率 H29 100.2%)	健康づくり課	一致	間接・補完	B
			B		
6-2	感染症予防対策事業 狂犬病予防法により予防接種を実施(狂犬病予防の接種率 H29 90.4%)	生活環境課	間接・少数	間接・補完	B
			C		
7	国保制度健全運営事業 特定健診と特定保健指導を実施 (特定健診受診率 H29 48.7% 特定保健指導参加者率 H29 29.1%)	健康づくり課	間接・少数	間接・補完	C
			C		

#### 5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)

・なし

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

- ・健康診査事業は各種がん検診の受診率が低下していることから、更なる受診率を向上させるための取組が必要である。
- ・歯科保健事業は受診率が目標値を大きく下回っていることから、受診率を向上するための取組が必要である。
- ・国保制度健全運営事業は特定健診の受診率が目標値を大きく下回っていることから、受診率を向上させる取組が必要である。

(新たに取り組むべき事業はないか)

・なし

#### 6 施策の総合的な評価

(課題)

- ・各種がん検診、成人歯科検診、歯周病予防検診、特定健診の受診率及び特定保健指導の実施率を向上させるため、健康講座等により検診に対する意識啓発及び未受診者への受診勧奨の充実、強化が必要である。
- ・特定健診の結果を分析したところ「中性脂肪等糖尿病に関する値が全国に比べて高い」ことが判明した。一方、「健康増進のために意識的に運動している市民の割合」が横ばい傾向である。これらのことから今後糖尿病及び糖尿病予備軍が増加することが予想され、糖尿病予防対策を強化する必要がある。

(今後の方向性)

- ・広報やホームページ、全戸配布のチラシ、健康講座、食育講座、保健推進委員及び食生活改善推進員の活動を通じて市民の健診に対する意識を高めるとともに、未受診者への受診勧奨や乳がん検診における夕方検診の実施や胃がん検診における受付時間の延長など、より受診しやすい環境を設定するなどにより、更なる受診率の向上を目指す。
- ・これまでの「脳卒中予防」対策に加え、今後は糖尿病及び糖尿病予備軍の予防を目的として、保健大学、健康アップ講座、食生活改善推進員及び保健推進委員の研修や活動を通して、運動や食生活の見直しによる生活習慣の改善の取組を強化する。